

フィリピン国において「道路の維持管理に関する技術セミナー」 を開催しました

令和6年8月2日、当社はフィリピン国マニラ市においてフィリピン公共事業道路省（DPWH）と「道路の維持管理に関する技術セミナー」を開催しました。

この会議では、舗装の調査、維持管理、補修材料などの技術セミナーの他に法面技術に関する講演や質疑応答が行われました。

今後は、社会インフラ分野における維持管理、長寿命化、リサイクル、脱炭素化などにむけて技術協力を進めてまいります。

●技術セミナーの概要

- (1) 開催日：令和6年8月2日（金）
 - (2) 場所：フィリピン国マニラ市 Bayleaf Intramuros
 - (3) 参加者：在フィリピン日本大使館、JICA フィリピン事務所、フィリピン公共事業道路省、民間コンサルタンツ及び企業約4社
- セミナーの開催に当たって
フィリピン公共事業道路省 サダイン上級次官の挨拶
在フィリピン日本国大使館 木下覚人二等書記官の挨拶
- セミナーの講演内容
- ・舗装の調査、維持管理、アスファルトの改質、リサイクル、補修材料について
 - ・補修工法の説明や修繕材料などのサンプル紹介
 - ・法面の防護ネット技術紹介



フィリピン公共事業道路省
サダイン上級次官の挨拶



在フィリピン日本国大使館
木下覚人二等書記官の挨拶

写真-1 技術セミナーの開催に向けた両国からの主賓挨拶

●ライフサイクル、長寿命化、リサイクル、低炭素化に資する道路技術

道路分野では、特に「道路のライフサイクル、長寿命化、低炭素化」に関し、材料、製造、施工の各段階での技術やこれに伴う活動における二酸化炭素（以下、CO₂と称す）の排出量削減技術の開発・導入に取り組んでいる。

その中で、材料や製造におけるCO₂削減対策である、加熱アスファルト混合物の中温化やリサイクルによる10～20%のCO₂削減に関する説明や常温のアスファルト乳剤を適用した混合物に関するバインダ性能や多種多様な製造・販売について説明を実施している。使用する混合物の種類や配合にもよるが、通常加熱混合物に比べて常温アスファルト混合物は40～50%程度のCO₂削減が可能で有ることについての議論が行われた。常温のアスファルト乳剤を適用した混合物は、使用するバインダによって性能が分類されており、多種多様なものが製造・販売されている。使用する混合物の種類や配合にもよるが、通常加熱混合物に比べて50%程度CO₂削減が可能で有ることの議論が行われた。



舗装技術全般 講演(阿部) 簡易調査・補修材料 講演(村上)

写真-2 技術セミナーの講演状況

写真-3 技術セミナー閉会の挨拶
(ベンジャミン局長)



写真-4 技術セミナー終了後に参加者との記念撮影

[\(20+\) DPWH Taps Japanese... - Roads Management Cluster 1 Bilateral, UPMO | Facebook](#)

問い合わせ先：東亜道路工業株式会社 建設事業本部 営業部 海外営業課長 村上憲司

〒106-0032 東京都港区六本木 7-3-7

E-mail : kenji_murakami@toadoro.co.jp , TEL : 03-3405-1813 FAX : 03-3405-4210